

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 10 日

事業所名 児童デイサービス ほーぷ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	3	0	活動ごとに部屋を分けている。	
	2 職員の配置数は適切である	4	5	0	業務担当を分けて、工夫している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	0	6		今後児童の状態に合わせて、整備していく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3	2	定期的・必要時に行っている。	ミーティング以外での確認・声掛けをしているが、さらに工夫していく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	4	1	連絡帳、電話・メールで確認。	アンケート等、ツールを検討していく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	3	0	ホームページにて公開。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2	1	相談員から伺っている。	外部評価を行う提携先を検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	2	0	職員交代制で外部研修に参加。	今後も継続して外部研修へ参加し、社内研修も継続して行う。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	2	0	ミーティングで共有。	共有方法、計画作成方法をさらに検討していく。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2	0		改善を図っていく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	0	ミーティングにて活動内容を話し合っている。	固定化しない、感染対策も工夫していく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	0	児童の希望、様子に合わせて対応。	児童・保護者の希望も確認しながら、活動・玩具等を工夫していく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	2	0		色々な刺激(体験・感性)を受けれるように工夫していく。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0		得意なもの、強みを伸ばせるよう、児童の状況に応じて工夫していく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	4	0	毎朝申し送りにて、確認。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	2	送迎終了後、報告・共有している。	終礼等、業務改善を図っていく。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	1	毎日、日報・連絡帳の記録を行っている。	記録からも改善に繋げていこう、工夫していく。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	0	定期的に行っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	5	0		児童に合わせて、支援を行っていく。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	9	0	0	児童発達管理責任者 が参加。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	4	5	0	送迎時に申し送り、 電話連絡で行ってい る。	保護者・学校ごとに情報共有、確認を継続していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	3	6	0		服薬が必要な児童に関しては、病院関係者も会議に 参加。確認を行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	4	5	0	主に保護者からの情 報共有。	今後も情報共有について、改善策を検討していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	2	6	1		該当児童なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	5	4	0		研修に参加していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	2	6	1	交流出来ていない。	感染対策等、今後機会を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	0	4	5	参加出来ていない。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	9	0	0	利用ごとに連絡帳・ 送迎時に報告。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	6	3	0		保護者・家族支援と合わせて、支援できるよう研修・ス キルアップの工夫・計画を検討していく。	
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	8	1	0	契約時に行ってい る。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい る	9	0	0	相談ごとにその都度 対応している。	今後も適切に丁寧に対応していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	0	6	3	開催出来ていな い。	感染対策等、今後開催を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	6	3	0	苦情・相談等が あれば、管理者 へ報告し、対応し ている。	今後も適切に丁寧に対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	8	0	1	利用予定カレン ダー、連絡帳にて報 告。アルバム等を制 作し提供。	
	35	個人情報に十分注意している	9	0	0	職員全員に周知。注 意して取り扱いしてい る。	引き続き、個人情報の取り扱いに注意して業務を行 う。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	8	1	0	保護者へ写真・動画 等を活用している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に関わられた事業運営を図っている	0	1	8		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	5	1		職員全員へマニュアルの周知を徹底していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	3	2		発生を想定した訓練を計画・実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	3	0	外部研修参加・社内研修を行っている。	今後も積極的に行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	3	5		該当児童なし。必要な場合を想定し、今後の対応を検討していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	3	0		口頭で確認。指示書・資料等があるか確認を行う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	3	0	実際の事例・危険予測された事例を共有している。	共有・周知をより徹底していく。